

山内村まるごと生活博物館事業 実績報告

事業の目的：山内地域の地域資源の見える化を図るために、県外で「村丸ごと生活博物館」構想を打ち上げ、活動されている先駆的な地域と交流し、互いの活性化手法の情報交換を行う。

また、地域内外の人や子ども・若者の視点を活かした町づくりへの提案、高齢者の人財の活躍の場所を作ること、山内地域住民が地域のあるものを見直し、誇りと愛着をもてるような地域を目指す。

主催：山内エコクラブ
沖縄県糸満市(政策推進室)

後援：滋賀県、滋賀県教育委員会

協力：山内区長会
山内自治振興会の名人発掘事業班
有志者

期間：平成 24 年 7 月 20 日～23 日



対象児童：沖縄県糸満市米須地区あすなる会の子ども 8 名と保護者、市役所職員 1 名
山内エコクラブメンバー
公募による受け入れ
30 名以内

事業予算：沖縄県糸満市一般会計
財団法人「移住・交流による地域活性化支援事業」より、助成事業
山内エコクラブ
山内自治振興会名人発掘事業費
参加者の個人負担

事業内容：下記のとおりである

月日	時間	内容
7/20	20:40	沖縄県糸満市あすなる会、貴生川駅到着(山内エコクラブ 森、山下、井阪、竜王が迎える)
	21:10	森、山下の自家用車にて山内まで送迎、 山内公民館着 女子 3 人は林さん宅、男子 3 人は野尻さん宅への民泊のため、移動する。
	21:30	大人たちが宿泊するダイヤモンド滋賀にて、スタッフミーティング(スタッフ必携と子どもの教材冊子をもとに行程の確認と安全マニュアルを読む) 糸満市からのオブザーバー参加の崎山氏は、先にダイヤモンドに到着していたので、合流する。
7/21 曇り	8:30	米須のメンバーのみ、化石地帯散策。貝の化石発見 山内エコクラブ：会場準備と受付のスタンバイ 一般受付(永源寺山上小学校 3 年、山内小学校一般)
	9:30	オリエンテーション：山内公民館
	9:40	司会：竜王みやび(山内エコクラブ)
		三小学校(山内、永源寺山上、米須)の子ども 28 名を 5 つのグループに分け、自己紹介。ス

10:00

タッフ紹介。井阪先生より、事業の概要を子ども達向けに説明「自分達が、将来どのような人間になりたいですか」そして「そのためには、何をしたらいいんだろう」と言う目標を個人で、明記し、目標設定をした。

郷土食づくり(どうかんだんご、いばら餅)

指導は山内エコクラブの子ども。

どうかんだんご：昔のお百姓さんたちが、田んぼがひとだんらくしたこの頃に、山にあるイバラの葉を使ったダンゴを作りました。これを“ドウカンドンゴ”と言いますが、名前の由来がわかりません。おばあちゃんが、家でするのは、団子の粉を練ってしますが、次の日でも『生地が柔らかい』のが、上手な人だそうです。今回は、中力粉で作ってみました。

材料：中力粉 500g 熱湯 700cc～800cc
 塩 小さじ1 片栗粉は打ち粉としてたくさん。
 あんこ(小豆) 400g
 山でイバラの葉を取ってきます。

25個はできます。

作り方：①粉と塩を混ぜます。

 ②熱湯を少しずつ入れ、木じゃくしで混ぜていきます。

 熱湯を入れるときは大人がします

 ③②をれんげで潰したり、たたいたりします(15分)

 ④③の半分をまな板の上に乗せて、棒状にして団子の大きさに切ります。

 柔らかくて丸めにくいので、片栗粉を手にもぶして、引っ付かないようにします

 ⑤小豆を入れて丸めます

 ⑥イバラの葉2枚を上下に置きます。

 ⑦10分蒸します

 ⑧木の盆の上で冷まします

市場公民館に歩行にて移動し

昼食(散らし寿司、澄まし汁、キュウリとイカの酢の物、ぜんまいの煮物、竹の子の煮物)

12:00

食事づくりは、ツタエグループ6名のボランティアさん

食事後、山内公民館に移動

山内村探検

13:00

5つのグループに分かれて、村のお年寄り(名人)から、昔と今の暮らしの違い、これから先の村の未来像を聞き取りました。(一部、車で送迎あり)

13:30

1班：野尻 清 氏(黒川市場)

2班：落合 道夫 氏(川西)

3班：杉本 庄治 氏(黒滝)

4班：岡田 弘次 氏(上の平)

5班：八夫 くに 氏(笹路)

30分ほどの聞き取りと、周辺地域の散策

山内探検のまとめ

15:00

5つのグループに分かれて、聞き取り内容を模造紙にまとめました

16:30

入浴

ダイヤモンド滋賀のやっぼんぼんの湯へ送迎

17:30

夕食

おにぎり、肉じゃが、サラダ、

お食事ボランティアお結びの会



18:30

夕涼みコンサート(司会：山下英隆 氏)

I 歓迎のあいさつ(山内エコクラブ 竜王真紀)

II 歓迎メッセージ(甲賀市長メッセージ 藤田土山支所長が代読)

III ハンドベル

IV 和太鼓 六友会

VI 山内探検の発表

1班(市場地区：野尻さんへの聞き取り)

① 昔の良かった点は、自然がいっぱいでいろいろな工夫をしてくらしていたこと

② 動物を飼っていたのは、以下の理由による

豚：食べるために飼っていた

山羊：乳をとるために飼っていた

ニワトリ：食べるため、卵を産むため

牛：農機具の変わりに使っていた

③ どのような村になってほしいか

(子どもが考えたアイデア)

電気をあまり使わない

おじいちゃんやおばあちゃんの手伝いをする

昔の良いところをまねする

自然(山・川・銀杏の木)を残していく

昔の自然を生かして、豊かな村にする

2班(川西地区：落合氏に聞き取りしたこと)

① 「今」の山内について聞き取りしたことは以下の通り

昔いた生き物が少しずつ減っている

お年寄りのひが増えている

電気も水もちゃんとある

② 「山内の未来はどうなってほしいですか」

今より自然がたくさん増えてほしい

昔の村に戻ってほしい

昔みたいに水がきれいになってほしい

3班(黒滝地区：杉本さんに聞き取りしたこと)

① 「山内の過去」についての聞き取り

昔は、家で食べる分だけの米を作っていた

牛は畑を耕し、糞は肥料にしていた

川には鮎や琵琶マスがいて田んぼにはどじょうがいた

炭を焼いて売っていた

② 「山内の今」

黒滝の人口は、80人くらい

今は、山に入る日は決まっている

お年よりは増えているけど、祭りの時期に若いものが帰ってきてくれるのが嬉しい

③ 「山内の未来」

若い人が働いているときは、外に出て仕事をしていても、年をとってから、帰ってきてももらえるような地域にしておかなければならないと思う。

よその人が行き来四手くれる地域であってほしい。

4班(上の平地区：岡田さんに聞き取りしたこと)

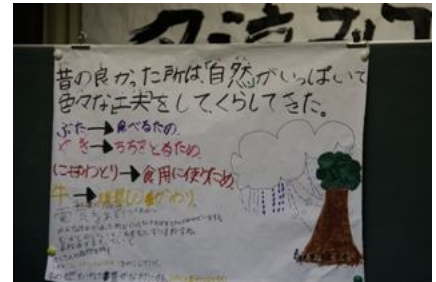
① 「山内の過去」

トイレはぼっとんトイレ(汲み取り式)→かなり子ども達が反応したとのこと

村の戸数は、10戸くらい
川の生き物は、アユ、ウナギ、カワウソ
食べ物は、御餅、あられ、芋ダンゴ、栗
遊びは、メンコ、タケトンボ、エスケン、ニクダン等
履物は藁ぞうり

②「山内の今」

過疎化が進んでいるが、若い子に来てほしい
家族が宝物
いろいろなところから子どもが来てほしい
施設を建てて子どもを増やしたい



③「山内の未来」

若い人が来る山内
明るく楽しい山内
一年中、笑いが絶えない山内
ケンカがない山内
魚を増やす努力をする山内

5班(笹路地区：八夫さんに聞き取りしたこと)

- ① 移動手段が変わってきたことは何ですか
→昔はどこでも歩き、今はバス
- ② 大切にされているものは何ですか
→昔からある大黒柱、大切な家の支え
- ③ 山内を元気にするにはどうしたらいいですか
→地域の人が話し合っ、協力しながらすみやすい山内にしてほしい



VII 各地域ごとの発表

① 山小学校3年生

平成24年6月25日から山上小学校で、地域の人に教えてもらいながら 蚕を育てて研究している様子を発表しました。

② 米須あすなろ会

沖縄の地名や言葉の由来をパネルも見せながら教えてくれました。



③ 山内エコクラブ

ジャンボ絵本「鈴鹿物語 水をつなぐ山内の龍王」



3年前のメンバーが、地域の人に聞き取った水文化からの学びを仕掛け絵本として作成したもの。OBメンバーも集結し、久々に披露しました。

VIII コメント

① 崎山 正美氏(元糸満市役所 政策推進室参事)

山内探検の発表は、絵を取り入れて工夫されていて面白かったし、素晴らしかった。山内エコクラブがやっている「聞き取り調査」を『聞き書き』と言うが、糸満市でも「旧暦文化を記録する会」を立ち上げて、お年寄りに対して『聞き書き』を行っている。私たち、団塊の世代も、昔のなんとなくはわかっているが、正確には知らない。親世代が生きてきた時代を次世代に伝えていくことが、大事だと考えています。これから、子どもだけでなく、私たちもしていく必要があるでしょう。

② 金井 萬造氏(立命館大学 経済学部教授)

地域にある資源に対して、知恵を出し合っって次世代につなげていくことが大切。3つの小学校の子ども達が、グループに分かれて、調べモノをして協力してまとめて発表できたことは素晴らしいことであった。



IX ゲーム「4人の博士」

X 米須エイサー

米須あすなろ会の子ども 6人がエイサーを披

露。

最後は、会場のみんまも交えて、『カチューシャ』を踊りました。

エイサーは、見真似でできるものではありませんでした。



I X 終わりのあいさつ(山内エコクラブ 森 繁樹氏)

宿舎への移動(男子は、上の平公民館、女子は市場公民館)

就寝

朝食

ご飯、目玉焼き、ウインナー、サラダ

子ども達の保護者とやまえこ大人たち

日程説明 井阪氏

田んぼの観察、いきものみつけファームの説明(竜王みやび、森繁樹)

どろんこサッカー、田んぼでの宝探し、川でのニジマスつかみ

簡易シャワーで体を洗う

川西地区の有志の方々に大変お世話になりました。



21:30

22:00

7:30

7/22
曇

8:30

9:00



12:30

山内公民館に戻り昼食
カレーライス、ヨーグルトサラダ
子ども達の保護者、お結びの会
焼き杉体験(指導：馬場 正光 氏)

14:00

作りかた
① 動物などの材料を決める
② 手袋をはめて鑪で表面の角を削る
③ バーナーで焼いてもらう
④ ブラシですすを落とし、磨く
⑤ そこに金具をつける
⑥ ひもを通す
⑦ 目玉にボンドをつけて接着
完成



15:00

寄せ書き、看板づくり
説明(森 繁樹)
解散式(山内一般、山上小学校児童)

16:00

「みんなのいい所を誉め合おう」



入浴

17:00

ダイヤモンド滋賀へ移動
夕食(上の平公民館)
ご飯、ヒレカツ、かきあげ、サラダ、なすの田楽、漬物、いろいろ

18:30





食事ボランティア お結びの会
昔話を聞きに行く

20:00

近くに住んでおられる鍋家さん宅にお邪魔し、話を聞かせていただきました。
130年前に建てられた家で、お話のときに雰囲気を出すために、囲炉裏とろうそくの日のみにされていました。子ども達は、怖がっていましたが、周りを暗くして、火を囲んで話をする事で、人は集中できるとのことです。

①ヒヌカン(沖縄県)、カグツチ(山内)、プロメテウス(ギリシャ神話)の3つどれをとっても火の神です。②食べ物を食べる時に「いただきます」というが、何に対して言っているか?作ってくれた人に言うだけでなく、人間は全ていきものを食べている、それで命をつないでいる、だから命に対して「いただきます」なのである。食べ物を残すことは、「命」を無駄にしていることにもなる。昔は、食べ物を残して捨てることを「納める」と言った。昔は、残したものを家畜などにまわして命をつないでいった。箱膳の話も出ました。

② 今は、田んぼ(川の上)に杉の木がある。昔はなかった。林業が盛んであった山内では杉を田んぼを潰して植えた。今は、鹿、猿、イノシシに荒らされ、対策でたいへ

7/23		<p>んである。</p> <p>③ 川はきれいであるが、プランクトンは少ない。これは、針葉樹が多く落葉樹が少ないからである。もっと落葉樹が増えたら川にいきものもふえるだろうが。</p> <p>④ やまてんぐの話、やまえこキャラクターのルーツでもあります。</p> <p>お話をいただいた鍋家さんは、沖縄には何度も言っておられ米須の土地勘までありました。</p> <p>上の平公民館に移動し、自由行動 就寝(子ども達はすぐに寝ました)</p> <p>21:00 地域の子どもとラジオ体操</p> <p>22:00 水生昆虫のいきもの観察</p> <p>6:30 朝食づくりお手伝い 朝食 セルフサンドイッチ、ジュース</p> <p>7:30 後片付け 上の平公民館出発 地域の方々に送っていただきました。</p> <p>9:00 山内公民館にあいさつ</p> <p>琵琶湖博物館到着</p> <p>10:30 自由時間(ニゴロブナ生態企画展) 昼食</p> <p>12:00 ブラックバスてんぷら等 プランクトン観察 琵琶湖で水を採取して、</p> <p>13:00 200倍の顕微鏡で観察</p> <p>14:10 草津駅に移動</p> <p>14:40 草津にて見送る</p> <p>16:00 山内公民館で到着解散</p>
	   	

山内村まるごと生活博物館にご協力いただいた方々

【参加者】

山内エコクラブ子ども 6人
山内小学校児童 8名
糸満市米須地区の子ども 6人
永源寺 山上小学校 3年 10人
計 30名+アルファ

【スタッフ】

山内エコクラブ(森繁樹、山下英隆、野尻悟司、安村将之、井阪尚司、岡田弘次、谷川重喜、竜王みゆき、
竜王真紀) 保護者様
糸満市あすなろ会 6人の子ども達と保護者 2名 糸満市役所 大城係長
写真ボランティア 馬場 日出男氏
見守りボランティア 松岡 勝男氏、林口 富夫氏
山内市民センター 谷 綾子氏 森口 泉氏
お料理ボランティア つたえささん G 6名 お結びの会 19名
どろんこボランティア 川西区の有志の方々
聞き取り協力者(山内名人を含む) 6名
見守り：多くの方々

【ゲスト】

元糸満市役所政策推進課長 崎山 正美氏
立命館大学経済学部教授 金井 萬造氏
ハンドベルふらんしーず
山内和太鼓 六友会

【オブザーバー参加】

朝日放送 がんばれ元気っずスタッフ 4人
その他 崎山氏の仲間三人、藤井亜希子氏(取材)
甲賀市役所コミュニティ推進室 呉竹室長 清水井課長補佐
甲賀市役所 土山支所長 藤田氏(市長メッセージ代読)

多くの方々の、ご協力に感謝いたします。

文責 竜王 真紀